

被扶養者申告書

大阪市職員共済組合

①	組合員証	(記号)	(番号)	氏名	生年月日	昭和 平成	年	月	日		
		資格取得日	昭和 平成 令和	年	月	日	住所	給料	級	号給	円
② 届出又は増員する被扶養者及び現在の被扶養者	フリガナ		性別	生年月日	続柄	職業	年間収入見込額 (種類)	住 所	扶養するに至った理由 及び事実発生日	新旧別	扶養手当 受給の有無
	氏 名										
			男・女	年 月 日			()			新	有
			男・女	年 月 日			()			旧	無
			男・女	年 月 日			()			新	有
			男・女	年 月 日			()			旧	無
			男・女	年 月 日			()			新	有
③ 扶養親族以外の親族			男・女	年 月 日			()				
			男・女	年 月 日			()				
④ 減員する被扶養者			男・女	年 月 日	(扶養しなくなった理由及び事実発生日)					(資格喪失証明書) 要・不要	
			男・女	年 月 日						要・不要	
			男・女	年 月 日						要・不要	

裏面の「届出についての注意事項」を参照してください。

上記の記載事項は、事実と相違ないものと認めます。 令和 年 月 日	所属所受付日	※ 共 済 組 合 決 裁 欄	課 長	係 長	係 員
所属機関の長 又は所属所長 職名 _____ 氏名 _____		認定・喪失・同居・別居 令和 年 月 日			
		認定・喪失・同居・別居 令和 年 月 日			
		認定・喪失・同居・別居 令和 年 月 日			
		認定・喪失・同居・別居 令和 年 月 日			

届出についての注意事項

- 1 この届出は、新たに組合員となったとき又は被扶養者に異動(増・減員、同居・別居の変更)があったときに、所属機関の長又は所属所長を経由して30日以内に大阪市職員共済組合へ提出するものです。(任意継続組合員の場合は直接、当組合まで送付してください。なお、その場合はおもて面の所属所長による証明欄は不要です。)
- 2 共済組合の被扶養者とは地方公務員等共済組合法第二条第二項に次のように定められています。
 - イ 組合員の配偶者(届出をしていないが、事実上婚姻関係と同様の事情にある者を含む。以下同じ。)、子、父母、孫、祖父母及び兄弟姉妹
 - ロ 組合員と同一世帯に属する三親等内の親族で、イに掲げる者以外のもの
 - ハ 組合員の配偶者で届出をしていないが、事実上婚姻関係と同様の事情にあるものの父母及び子並びに当該配偶者の死亡後におけるその父母及び子で、組合員と同一の世帯に属するもの

ただし、上記イ、ロ、ハに該当しても、後期高齢者医療制度に該当するものは除きます。
- 3 内のみ記入してください。
- 4 <被扶養者を増員する場合>

②欄に新たに増員する被扶養者及びすでに認定をうけている被扶養者についてすべて記入してください。「職業」にはその文字にこだわらず「小学1年」「中学2年」「大学3年」「家事手伝」「年金収入」などと、その実態がわかるように記入してください。「年間収入見込額」には配偶者及び親族に収入がある場合にその額を記入し、種類に「給与」「年金」「不動産」「事業」などと記入してください。「扶養するに至った理由及び事実発生日」には、「出生」「婚姻」「離職」などの理由とともに当該事実発生日を記入してください。「新旧別」は新たに増員する被扶養者を新、すでに認定をうけている被扶養者を旧として、その該当文字を○で囲んでください。また、「扶養手当受給の有無」についても該当文字を○で囲んでください。

③欄には、今回増員申請をする被扶養者に関して、他の扶養義務者がいる場合に記入してください。

<被扶養者を減員する場合>

④欄に減員する被扶養者を、②欄に減員後の被扶養者を記入してください。「扶養しなくなった理由及び事実発生日」には「就職」「死亡」の理由とともに当該事実発生日を記入してください。

国民健康保険等に参加するために資格喪失証明書が必要な場合は「要」、必要でない場合は「不要」として、その該当文字を○で囲んでください。
- 5 この被扶養者申告書を提出するときは、その事実を証明する書類(住民票の写し、扶養事実の証明書、在学証明書、就職・退職証明書等)を必ず添付してください。場合によって、共済組合が指定する文書等を添付していただくことがあります。